

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている			
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・子供服や婦人靴売場で、まとめ買いをする客が少し増えてきており、客の購買意欲が多少高くなってきたように感じられる。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・既存店の売上高を昨年比でみると、3か月前の103.6%が105.2%と、1.6ポイント良くなっている。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・台風被害による買替需要と新製品の発売効果により、来客数が増え、例年並みの販売量を確保できた。
		乗用車販売店（管理担当）	来客数の動き	・高潮被害の影響と考えられるが、販売台数は若干増加している。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・10月より低価格帯の値引きなし（ワンプライス）限定車を発売した結果、受注が増えており、全体で前年比118.6%、実台数で110台伸ばすことができた。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・先月同様、家族、グループ旅行や社内旅行等の相談、予約が順調に推移した。東京への航空券の受注も引き続き順調であった。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来客数は伸び、客単価も一定の水準を保つことができたため、売上がやや良くなっている。
	変わらない	一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・台風の影響で営業日数が減り、販売量は減少した。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・台風の影響で、直接的な被害は少なかったものの、消費者は外出を控える傾向にあり、来客数の減少が売上に大きなマイナスの影響を及ぼしている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は、来客数より前年比で2%から5%ぐらい低かったが、今月に入ってから、ほぼ同程度になった。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・給料日が集中する20日前後から翌月の初めにかけての売上は比較的良いが、それ以降、落ちる傾向がみられる。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・エアコン、白物家電が大きく伸びているなかで、特に、薄型テレビやHDD内蔵DVDレコーダーなどの付加価値商品がよく出ている。また、来客数も増加し、買上点数も増えてきている。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・客単価については、安値定着の感がある。また、台風の影響によって野菜が高騰しているため、原材料価格が上昇し、収益が悪化しつつある。
		観光名所（経営者）	来客数の動き	・景気は徐々に回復してきているように思われるが、観光産業は相次ぐ台風の影響で、大打撃を受けている。
		都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・来客数は増えているが、客単価が下げ止まらないため、売上に変化はみられない。
	やや悪く なっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・この時期は収穫の季節であり、農家が繁忙期に入るので、毎年売上が減少する傾向にある。その上、今年は台風が連続して上陸したため、売上はかなり落ち込んでいる。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・台風等の影響により、客の購買意欲が非常に低くなり、3か月前に比べると来客数は10%ぐらい減っている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・ブランド商品群の売上は、前年を若干上回ったが、トータルの売上、来客数ともに、前年を下回った。特にファッション関連や衣料品の落ち込みが目立った。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・台風の影響で野菜が高騰しており、他の物の購入を控えるといった傾向がみられる。これ以外にも、台風被害による余計な消費の発生から、買い控えがみられる。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・台風の影響によって、来客数が5%減った。
スナック（経営者）		それ以外	・一連の台風による水害の影響を受けて、十分な営業ができない。	
観光型旅館（経営者）		来客数の動き	・愛媛の南予地域で開催されている町並博に期待したが、あまり集客に効果がなかった。加えて台風の影響によるキャンセルがかなりあった。	

		タクシー運転手	来客数の動き	・台風の影響で、四国八十八カ所参りなどのキャンセルが結構あり、夜の客も全くなかったため、全体として客数がかかなり減少した。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示場の来場者だけでなく、既存客の相談件数も減った。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	競争相手の様子	・売買の成約件数が少なくなっていることに加えて、土地が値下がりしていることから、仲介手数料が減少している。
	悪くなっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・台風の影響もあり、飲食店には本当に客が来ていない。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・今月は台風の襲来により、売上は大きく低下した。
企業動向関連	良くなっている	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年どおり秋の季節需要と、新規顧客の開拓により受注が増えている。
	やや良くなっている			
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注は増える傾向にあるが、原油高により、染色加工賃の値上がりの動きも出てきており、業界としては、全体的に良い方向であると一時的に解釈するわけにいかない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・トイレットペーパーの販売価格が下落しており、従来商品だけでは売上高、販売量ともに減少している。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事は依然として大幅に減少しており、落札価格も低水準のままである。
		通信業（営業担当）	それ以外	・経費節減の話には興味を持つが、新たな設備投資に対しては、慎重な客が多いと感じる。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・台風来襲は一部の業種ではプラスの要因になっているが、大多数の業種で、売上減を余儀なくされている。市内中心部で、生鮮を扱う小売業者は、前年同月比半減だと聞いている。
	やや悪くなっている	食料品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・2、3か月前に比べて、円高の影響で単価が下がっているため、販売数量は増えているが、売上は少し減っている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・台風の被害が全国的に及んだことから、客の動きがやや停滞した感じがする。また、東海・関西地区の排ガス規制の動きは東京ほどではないという話を聞く。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・案件が非常に少なく、提案もあまり受けてくれない状況であり、客の動きが止まった感じがする。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・台風23号の直撃で、主力輸送品である農産物が深刻な打撃を受け、出荷量が例年に比べ激減している。
		公認会計士	取引先の様子	・3か月前と比べると、取引先との決算料や顧問料などの集金が悪くなってきている。これは各企業の資金繰りが悪化してきているものと推測でき、このことから、景気は若干、悪化してきているのではないかと考えられる。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・以前は、派遣登録に来る人は、失業中の人が多かったが、最近は転職希望の人が増えてきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数はサービス業で増加し、全体でもやや回復した。前年同月比では0.2%の増加だが、先月と比べると20%の増加となった。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数を前年比で見ると、13か月ぶりに減少に転じた。その内訳は、情報サービス業や派遣業、警備業において、大口求人がみられた。しかし、卸売、小売業では販売員のパート求人が減少し、医療業、社会福祉関係でも、介護職員、看護師等の欠員補充が少なく、トータルで求人が減少した。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・業績の低下により賃金カットをする企業がある反面、高収益を確保している企業もある。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新たな建物の建設がなく、求人広告もない、この状態はしばらく続く。
	悪くなっている	-	-	-